

第33回日本緑内障学会

ランチョンセミナー4(LS4)

日時▶2022年9月16日(金) 12:30~13:30

場所▶第4会場(パシフィコ横浜 会議センター 302)

最新の 緑内障画像診断と治療 ～OCT画像、SLT治療～

座長のことば

近年の緑内障診療では、検査や治療のための新たな機器が次々と誕生し診療の幅が広がっています。診断機器は、単回検査による診断だけでなく、複数回の検査をおこなった際の進行判定に対応したソフトウェアの機能も充実してきました。また、SLT(選択的レーザー線維柱帯形成術)をおこなうための機器も複数登場し、選択肢の幅も広がっています。

今回のランチョンセミナーでは、クリニックと大学病院の最前線で活躍されている経験豊富なお二人の先生をお招きしました。大久保 真司先生(おおくぼ眼科クリニック)にはクリニックだからこそできる早期緑内障患者を発見する検査方法や、治療中の患者における経過観察に必要なOCTフォローアップ機能の活用方法などについて、溝上 志朗先生(愛媛大学)には、SLTをおこなう際の注意点や治療効果などについてそれぞれ症例を提示しながらご紹介いただきます。

多くの先生方のご来場を心よりお待ちしております。



座長

Masaki Tanito

谷戸 正樹先生

島根大学医学部眼科学講座 教授



演者

OCTを用いた
早期緑内障診断と経過観察

Shinji Ohkubo

大久保 真司先生

おおくぼ眼科クリニック 院長



演者

今からはじめるSLT

Shiro Mizoue

溝上 志朗先生

愛媛大学大学院医学系研究科
眼科学講座 准教授